

積水化学グループの新中期経営ビジョン「GS21-Go! Frontier」について

2006年3月6日
積水化学工業株式会社

このたび、積水化学工業株式会社（社長：大久保尚武）では積水化学グループ全社を対象とし、2008年度を最終年度とする新中期経営ビジョン「GS21-Go! Frontier」を策定いたしましたのでご報告いたします。

I. 新中期経営ビジョン 2006—2008 「GS21-Go!Frontier」

新中期経営ビジョン「GS21-Go!Frontier」を定めるにあたり、当社では「プレミアムカンパニー」を「営業利益率 10%を継続的に実現し、グローバルに社会の発展に貢献できる企業」と定義し、その実現に向け「3つの革新で5つの成長フロンティア」を開拓し、「プレミアムカンパニー」への転換を目指します。

全体像

- ①成長と高収益化を狙い、「成長フロンティアの開拓」に最注力する。
- ②2008年度売上高 1兆円、営業利益 750億円を達成する。
- ③CSRを実践しグローバルに社会の発展に貢献する真のプレミアムカンパニーを目指す。

1. 「3つの革新で5つの成長フロンティア」を開拓

高収益化を実現する成長事業の育成と新事業の創出、そして、それを支える技術、人材の重点強化を狙いとして、3つの革新を推進します。

3つの革新

①市場の革新

- ・グローバルな視点で高収益化と高成長を狙える5つの成長フロンティアをターゲット化
- ・低採算事業の改革を完遂し成長分野へシフト

②モノづくりの革新

- ・モノづくりを抜本的に見直し、究極のコストとダントツの品質を実現
- ・モノづくりで競争優位を築き事業の立ち立ちを強化

③人材の革新

- ・成長フロンティアの開拓をリードする人材の育成・拡充
- ・未来を切り拓く事業家人材を積極的に輩出

3カンパニーを事業の柱として、その個性を一層際立たせ、グローバルに成長し高収益を狙える巨大市場（5つの成長フロンティア）の開拓に最注力します。

5つの成長フロンティア

①ハイム「らしさ」追求

- ・工業化住宅を追求し高性能化、差別化をはかり環境・住み心地のニーズ増大に対応する

②水環境ソリューション

- ・パイプシステムの進化、グローバル化をはかり膨大な水インフラの整備更新需要に対応する

③高機能材料3戦略分野

- ・市場に対応したマーケティング、開発力でグローバル展開し自動車、IT、メディカル分野の高機能材料ニーズ拡大に対応する

④IT800

- ・お客様とのコラボレーション、オンリーワン技術のグローバル展開により成長著しいFPD分野、半導体分野の先端材料、常圧プラズマ装置を供給する

⑤GLOBAL1500

- ・グローバル経営力の強化、人材育成により急成長するアジア、BRICsをはじめ、全世界に広がる市場を狙う

2. 2008年度事業目標について

2010年度営業利益率10%達成を視野に入れ2008年度事業目標を下記の通り定め、キャッシュフロー経営を実践します。獲得キャッシュ2000億円を①投資1200億円（成長フロンティアへ600億円の戦略投資）と②株主還元強化（配当性向30%）、③財務体質強化に投入し企業価値倍増を目指します。

〔全社〕

	2008年度目標	2005年度見込
売上高	1兆円	8850億円
営業利益	750億円	390億円
資本効率	ROE10% ROA8%	ROE6% ROA4%
投資	1200億円（06～08年）	894億円（03～05年）
海外売上高比	15%	11%

〔カンパニー別〕

	住宅	環境・ライフライン	高機能プラスチック	その他
売上高	4800億円	2500億円	2500億円	200億円
営業利益	300億円	180億円	300億円	▲30億円

新中期経営ビジョン「GS21-Go!Frontier」では、「挑戦」「際立ち」「コミットメント」をキーワードとし、一人ひとりがたゆまぬ努力で際立ちを磨き上げ、自らをそして会社を変革していく「新行動宣言」を掲げました。CSRを実践しグローバルに社会の発展に貢献する真の「プレミアムカンパニー」を築き上げてまいります。

II. これまでの取り組みと総括

これまで、「際立つ」「高収益」に徹底的にこだわる中期経営ビジョン「GS21-Premium600」（対象期間2003年度～2005年度）を定め、グループが一丸となって「プレミアムカンパニー」を目指し変革に取り組んでまいりました。その結果、営業利益は対2002年度比270%となり着実に収益回復を遂げたと考えています。また、海外売上高は全社売上高の11%となるなどグローバル展開は加速し、環境経営に関しても高い評価を得ることができました。しかし「プレミアムカンパニーになる」という目標に対しては道半ばであり、その実現には事業の質的転換と意識改革が重要であると捉えました。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

積水化学工業株式会社 〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17

■コーポレートコミュニケーション部 広報担当 染野 岩本 TEL. 03-5521-0522